



元気いっぱいに演奏する五日市小の児童

被災地へのメッセージ 心と心をつなぐ音楽会

60回目となる町小中学校連合音楽会は11月11日、葛巻小学校体育館で行われ、児童生徒や保育園・児童館の年長児など約550人が参加、日頃の練習の成果を発表しました。

冬澤実奈未さん（江刈小6年）さんが「私たちの演奏が、被災地への応援メッセージとして届くよう、心を込めて演奏したいと思います。音楽で心と心をつなぎましょう」とあいさつし音楽会がスタートしました。子どもたちは音楽で心をつなぐ発表し、会場いっぱい元気なハーモニーを響かせ、詰めかけた大勢の保護者からも、大きな拍手が贈られました。



おばあさんと警察官のコントに場内は大笑い

自治会連携で寄席開催 落語や手品に大笑い！

第4回城下子（ジョーカーズ）寄席が11月11日、総合センターで開催されました。この寄席は、城内小路、下町、田子の3つの自治会が連携し、協働のまちづくり事業補助金を活用し行われ、約200人が落語などを楽しみ、大笑いしました。

寄席は、落語のほかに、和妻という日本手品やコントも行われました。最後は、第1回から出演している八戸出身の桂小文治さんが、「七度狐」を演じました。城内小路自治会の吉澤春雄会長は「お客様はもちろん、出演者にも満足していただき大変ありがたい」と満足の表情でした。

町消防団と葛巻分署 夜間の火災防御訓練

秋の全国火災予防運動に伴い葛巻町消防団（長岡宏団長）は11月11日、茶屋場地区で夜間の火災防御訓練を実施しました。訓練は「茶屋場自治会館から出火、火災は延焼拡大の様相」という災害想定で行われ、町消防団の現場指揮本部の指示により、第一中隊（第1・2・3・4・5・9分団）と葛巻分署が出動。各出動隊の連携により、元町川の自然水利を利用した放水などの訓練を行いました。

長岡団長は「日に日に寒さが厳しくなり、暖房器具を利用する機会が増えます。住民の皆さんのご協力をいただき、火災のない地域づくりを目指したい」と訓示しました。



放水により火災を防御する第1中隊の団員ら

パーフェクトが続出！ きき酒ききワイン大会

2011グリーンテージ杯きき酒・ききワイン大会は11月18日開催され、職場や地域、同級生など5人一組、22チームが参加し地元のお酒を楽しみました。

大会は岩手の清酒とくすまきワイン（赤）の、各5種類を5分間で当てるもの。参加者は香りや色、味など五感をフルに集中させ、時には首をひねりながら飲み比べました。

日本酒・ワインとそれぞれパーフェクトが続出し、ハイレベルな大会に。結果は優勝・くすまきワイン、第2位・スナック大とら、第3位・星野熟年隊で、日本酒・ワインどちらもパーフェクトは近藤健吉さん（城内小路）でした。



五感をフルに集中し、きき酒に挑戦する参加者ら



声を掛け合い、ごみを拾う野球部員ら

葛高野球部が道路清掃 地域の皆さんに恩返し

葛巻高校野球部の1・2年生の部員12人は11月19日、国道340号線・江刈方面の道路清掃をしました。今年で6回目と今回は、あいにくの雨模様となりましたが、朝8時に部員らは五日市小学校を元気にスタート。トレーニングも兼ねたこの活動は、葛巻高校までの約10キロを歩きながらごみを拾いました。

主将の戸花郁弥さん（2年）は「いつも地域の皆さんにいろいろ支援していただいているので、恩返しのつもりです。細やかなプレーを大事にしているので、このような地道な活動をしっかりやりたい」と話しました。



初めての交流でも「大地讃頌」を素晴らしく歌い上げた葛巻中と津軽石中の生徒たち

復興支援の感謝を込め 中学生が合唱での交流

合唱を通して交流を深めるため宮古市津軽石中学校（竹林充校長、生徒136人）の2年生45人が11月2日、葛巻中学校を訪れました。

葛巻中2、3年生が「最上川舟歌」を披露、続いて津軽石中が復興支援への感謝の言葉を交えながら「ふるさと」など3曲を披露しました。最後に両校一緒に「大地讃頌」を合唱し素晴らしい歌声を響かせました。

葛巻中の遠藤匠馬生徒会長（2年）は「緊張したけど楽しく交流ができました。復興への思いも合唱から伝わってきて、とてもいい合唱だと思いました」と話しました。